



2014年（平成26年） 7月7日 月曜日

滋賀県甲賀郡甲南町鋸鍛冶、八里平右衛門の作業場が、図書『むらの鍛冶屋』に多数の写真で紹介されていました。その一つに「前挽鋸用東郷鋼」の看板が見えました。著者、香月節子様に画像の借用をお願いしたところ、「20数年も前の画像で、撮影現場でもススなどで汚れて見えにくかった。」



23

「和鋼質 前挽大鋸用」



東郷鋼前挽大鋸看板
(画像提供・香月節子)



東郷ハガネ虎の巻 河合洋鋼商店

もうほとんど見えないので、他の画像を送ります。『2000年に甲賀郡甲南町でマエビギ鋸を集めた資料館が建てられ、そこを10数年前に訪ねた折に、東郷ハガネのマエビギ鋸の店の看板を写しましたので添付します」

送られて来た看板の写真には一部破損したところがあり、自分の想像で修復しました。修復部は東郷元帥を囲む丸い模様と、和鋼質と書かれた上の四文字、無限責任です。看板の文字は拡大しながら、一部見えないところは他の文書を照合しながら再生しました。

河合洋鋼商店（東京）が東郷ハガネを販売し始めたのは明治42（1909）年、これに先立つ明治39（1906）年、東郷ハガネを商標登録しました。その前年にロシアのバルチック艦隊を日本海で壊滅させたのは東郷元帥の活躍によります。看板にも時代背景を表す「国益の鋼」の文字が見

えます。東郷ハガネ虎の巻には、古来の玉鋼を駆逐し一大革新を遂げたる鋸用の2材料、東郷鋼黄紙和鋼質鋸用鋼、東郷鋼白紙和鋼質前挽用鋼と記されています。無限の責任を負うと書かれた看板に、明治の商人の心意気と潔さを感じました。

話は変わりますが、『鉄のふしぎ博物館』（姫路市）が開館5周年を迎えます。記念に7月18日〜21日の間『遊ぼう』をテーマに『バックンわに』作り

【参考図書】

▽むらの鍛冶屋（香月節子・香月洋一 平凡社 1986年）
▽東郷ハガネ虎の巻（河合洋鋼商店 大正5（1916）年9月）

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと交換しています。

日刊産業新聞 14・7・7

『鉄のふしぎ博物館』パンフレット

